

スタート！ Readingバトン 教員から筑波大生への message

本学の先生同士のネットワークをお借りして、様々な先生から筑波大生にお勧めの図書をご紹介いただくブックレビューリレーです。



学問のプロフェッショナルである教員のブックレビューが学生への“バトン”となり、何かを見つけて走り出すきっかけになればと願っています。

研究者として、教育者として
学生にお勧めの本
思い出の本
研究分野の紹介
学生に伝えたいこと etc.

教員

ブックレビュー



発見 ひらめき 創造
スキルアップ 情報
ノウハウ 気づき

学生

▶ Reading バトンは、筑波大生のための Web サイト「週 5 図書館生活、どうですか？」のコンテンツです。

記念すべき第 1 走者として、山田信博学長からご寄稿いただきました。



Readingバトン

山田 信博 学長 からの message



PICK UP!

ハイ・コンセプト 「新しいこと」を考え出す人の時代

ダニエル・ピンク著
大前研一訳
三笠書房 [2006.5]
ISBN 4837956661
所蔵館：中央図書館
分類 159-P66



アインシュタインは科学について、想像は知識より重要である。知識には限界がある。想像力は世界を包み込むと述べています。私たちはこれからどのように未来を想像して (IMAGINE THE FUTURE.)、新しいことに挑戦し、豊かな成熟社会を創るのでしょうか。未知の世界だからこそ、多くの新しいチャンスが出現し、そこでは私たちの真価も問われることになるでしょう。本書はこれからの成熟社会で進むべき道を右脳と左脳の違いを例にしながら、ハイコンセプトとハイタッチの2つの言葉に集約して、わかりやすく明快に記述しています。皆さんには世界の抱える課題の解決に向けて、単なる知識の学習を越えて、ハイコンセプトを意識して新しい付加価値を生み出すような想像力を発揮してもらいたいと願っています。未来がどうなるか、どうあるべきか、大胆に思いをめぐらして、新時代を開拓し、いろいろな機会でハイタッチしたいものです。

次は、波多野澄雄附属図書館長です。

2010/06/25 発行